

18. 龍谷大学

テーマ	さまざまな授業形式に対応した授業観察ポイント一覧とルーブリックの検討～授業観察学生の視点から～	
発表代表者	寺川 史朗:龍谷大学 法学部 教授	
連名発表者	小林 珠子:龍谷大学 学修支援・教育開発センター 専門員 大西 春叶:龍谷大学 文学研究科 東洋史学専攻 修士課程 1 年生 中道 彩晴:龍谷大学 経済学部 現代経済学科 2 年生	
キーワード	授業観察	教育改善
	学生参画	ルーブリック
発表の概要	<p>龍谷大学では、2021・2022 年度に「学生による授業観察」プロジェクトを実施し、その成果を基に 2023 年度から「学生による授業観察に基づく授業支援」を全学で推進している。2025 年度は取り組み 3 年目となる。授業観察に際し、観察学生は事前に授業担当者と打ち合わせを行い観察のポイントを聞き取るとともに「授業観察ポイント一覧表(以下、一覧表)」を用いて授業観察を行う。2025 年度は「一覧表」をもとに、ルーブリックを作成した。「一覧表」とルーブリックはともにさまざまな授業形式に対応できる内容になっているが、講義形式を想定した項目が多く含まれている。授業観察では、AL 形式の授業を観察する機会もある。また今後はオンライン授業を観察対象とする予定である。本発表では、講義形式以外の授業観察において有用な「一覧表」およびルーブリック作成に向け必要な視点・項目について観察学生と検討した結果について報告する。</p>	